社会福祉法人
江東園
お年寄りと子どもと障がい者の施設

令和4年度　事業報告

2023.6.20

TQM

社会福祉法人
江東園
お年寄りと子どもと障がい者の施設

令和4年度　事業報告

法人レベル

顧　　客

①コロナ禍における世代間交流

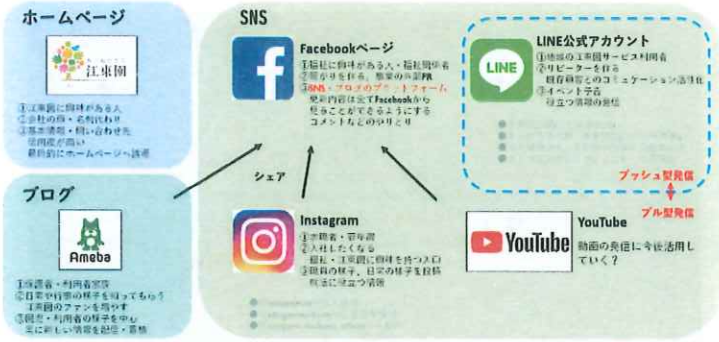
・ソーシャルディスタンスを保った交流を実施

ICTを使った新しい交流に加え、ソーシャルディスタンスをとったうえで、徐々に従来の交流のかたちに戻す取り組みをおこなった

②メディア等広報強化

Web媒体の使い分け　～江東園のファンを増やすために～

SNSで認知してもらい、ブログでファンを作り、ホームページでファンを売上につなげる！



インスタグラム
投稿件数：253（前年比＋121）
フォロワー数：2,022（前年比＋123）

③社内報DNA強化

DNAをより見やすく、気軽に。
施設内に掲示。
スマホで気軽に閲覧可能に。

④第三者評価または満足度調査

・5施設にて実施

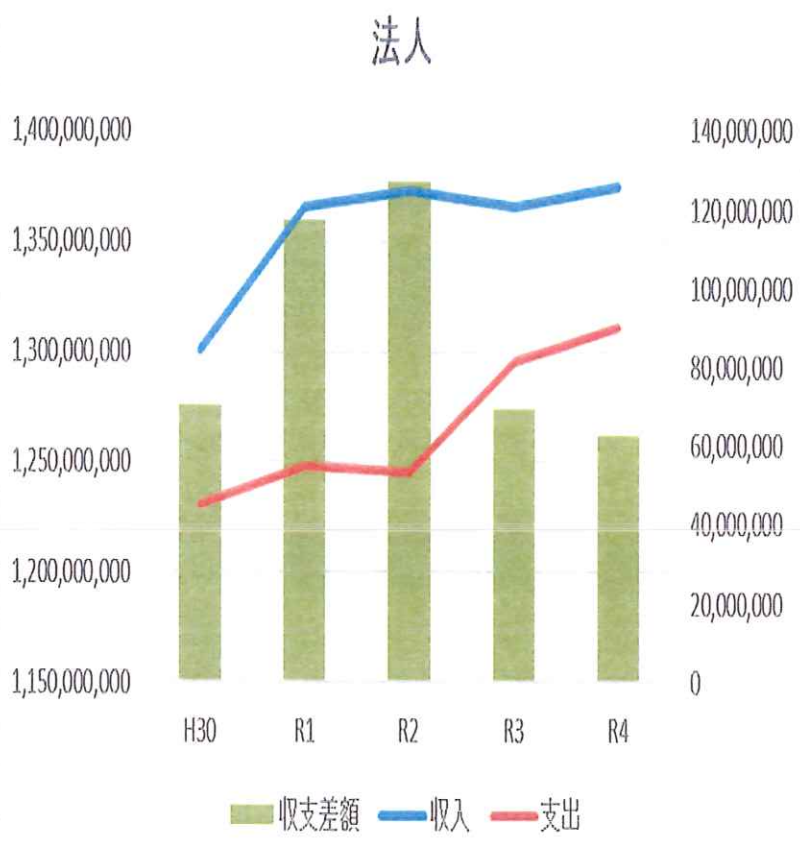
【第三者評価】
評価機関：NPO法人グローバルスカイ、日本高齢者介護協会
特別養護老人ホームリバーサイドグリーン、養護老人ホーム江東園、江戸川保育園、障害福祉サービス　江東園ケアセンターつばきえぽっく

⑤日本世代間交流協会との連携

計3回のオンラインセミナーを開催し、職員が参加。
日本全国の実践者から刺激を受ける。

経営・財政

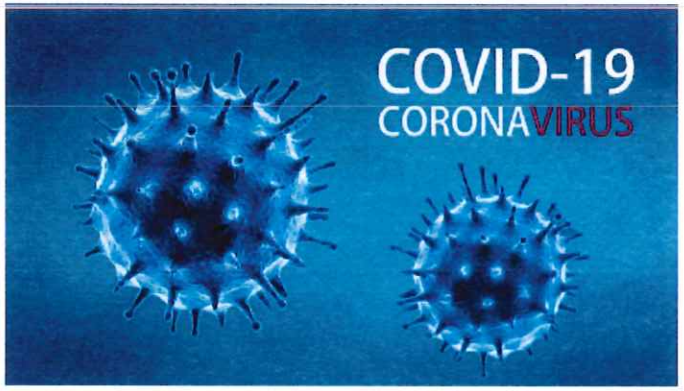
①法人全体収支



②収益率推移（法人）

③新型コロナウィルス

・新型コロナウィルス感染拡大により、事業経営に大きな影響



業　　務

①LINE面会

・面会制限によるLINE面会の実施

LINEによる面会を実施（特養、養護）。満足度は高く、需要あり。

感染者が出た際はLINE面会は中止とした。

感染が収まった時期は正面玄関の扉越しの面会を実施。

2023.2月より対面での面会を再開。

②感染予防ガイドライン

・第28版まで更新し、情報公開

2020.5.27発出第1版より第28版まで更新し、ホームページ等で公開

③PCR検査

・毎週2回 PCR検査、抗原検査を実施（東京都による）

・令和5年度も毎週PCR検査・抗原検査を実施

④区内老人福祉施設間協力

・区内合計34施設間で締結

・区内施設でクラスターが発生し、スタッフを派遣。

園内でクラスターが発生したが、法人内スタッフのみで対応し終結に至った。

⑤ICTを導入した業務改善

・ICT化を行い、全ヘルパーがスマートフォンで援助管理(予定管理・報告業務等)を行う。

ICタグでスマートな介護記録！
Care-wing 介護の翼

人　財

①業務支援チーム始動

・障がい者雇用職員の定着に向けてチーム立ち上げ。江東園全部署より業務請け負い、支援する。

【主な業務】
特養：リネン交換、歌の会補助、
　　記録打ち込み
保育園：布団干し、午睡補助
包括：書類整理、契約書作成
居宅：書類整理、契約書作成
その他：PCR検査キット作成、
施設内消毒、名刺作成

③本部とつばきの委員会を統合

・本部とつばきの委員会を合同で実施することで福祉ゼネラリストの育成と「輪」の文化醸成を図る。

【対象委員会】
ふれあい促進委員会
防災・BCP委員会
広報委員会
地域づくり委員会

②採用活動

**・売り手市場に伴い、採用活動に苦戦。
　新卒だけではなく、中途採用の強化もスタート。
・「入社後のミスマッチを減らす」ことを採用テーマとし、選考フローを全面的に見直す。**

【結果】
新卒採用　5名採用
中途採用　14名採用

➡結果的に採用は充足。

zoomを使ったインターンシップ、会社説明会、選考を実施。

④外国人職員・障害者雇用職員を支援

・多様な人財が働きやすい職場環境にするために、外国人サポートチーム・障害者雇用プロジェクトを推進。

【外国人サポートチーム】
・文化交流イベント「パンヤオの会」開催：55名参加
・外国人スタッフのインタビュー動画の作成

【障害者雇用プロジェクト】
知識底上げチームと周知チームに分け活動
・知識底上げチーム：外部研修を受講し、障がい者雇用への理解を増進
・周知チーム：障がい者雇用職員の紹介動画を作成し、法人内でアンケートを実施し、障がい者雇用に対する理解を深めた。

地　域　貢　献

①園むすびの会

・地域の高齢者を対象としたフレイル予防
・地域の方と“つながる”ことを目的として実施

（背景）

・新型コロナウィルス感染拡大により、外出や人との交流を制限される生活となったため、下肢筋力低下や認知症進行などのリスクが高まる。

（目的）

・フレイル予防を行い、安全安心な在宅生活を継続する

・江東園の専門職と地域の方がつながる

・専門知識の還元

（対応）

・2022年7月～2022年12月までの間に計3回実施。(うち1回、コロナウィルス感染拡大により中止とした)

・認知症予防と体力測定・骨密度測定を実施。

（結果）

・合計85名の地域高齢者が参加

（今後）

・月1回を目安に実施予定

②オンラインによる地域貢献活動

・オンラインによる子育て広場等を開催

・オンライン雑談会
9名参加（計4回実施）

・オンラインきんたろう広場
動画投稿回数26回

・リモート保育
7名参加（計3回実施）

・オンラインリトミック教室
21名参加（計9回実施）

③地域活動リーダーの発掘・育成

（背景）

・新型コロナウィルス感染拡大により、外出や人との交流を制限される生活となったため、他社との関わりがなくなり引きこもりとなる人が増加。また、地域活動の弱体化が進む。

(目的)

・地域の活性化、人と人とのつながりの再構築

（対応）

・地域住民が主体となった通いの場の創設のため、お世話役（地域活動リーダー）の発掘・育成に取り組む。

（結果）

・お世話役会　　月1回開催
・さつき会　　文科系活動　月2回開催
・ざっくばらん会　運動系活動　月2回開催

令和4年度

　コロナ禍3年目を迎え、様々な世代間交流を模索し、SNSの活用など新たなふれあいを実現することができた。しかし、引き続き感染症対策は必須であり、懸命な運営を余儀なくされた。

　採用活動はコロナ禍の影響を受け、困難を極めたが、新卒・中途合わせて19名の新規採用ができた。また業務支援チーム（障害者雇用）など多様な人財活躍を見据えた新しい形態を取り入れた。

　来年度は、不安定な事業を見直し、本部建替えを見据えた健全経営を目指していく。

社会福祉法人
江東園
お年寄りと子どもと障がい者の施設

令和4年度　事業報告

事業部レベル

養護老人ホーム江東園

視点	総括
経営 財政	利用者の入れ替わりがあったが、平均在籍数50名を確保できた。
顧客	コロナ禍において利用者の運動不足による体力の低下が問題となり、体操などの運動機会を増やすことが課題となった。
業務	感染防止対策に注力するもコロナ感染者が出た。対応に苦戦するも対応方法は確立できた。
人財	多職種との合同勉強会などにより専門性を高める努力をした。
地域 貢献	コロナの状況を把握しながら、地域清掃などのできる範囲の取り組みを行った。

お楽しみ会での様子

統計資料　P.1

特別養護老人ホームリバーサイドグリーン（短期入所含む）

視点	総括
経営 財政	18名の方が永眠。待機者リストを作成し2名の次期入所者を選定していたが、空床を埋めるに至らなかった。 短期入所はコロナ感染者発生のために1ヶ月休業。
顧客	コロナ禍において、行事については中止とせず、内容を縮小して実施。 フロアにおけるレクリエーションを重視した。
業務	コロナ対策として感染症予防対策と定期的なPCR検査・抗原検査を実施（2回／週）。 ICTの活用。
人財	外国人労働者の業務内容の精査及び介護技術勉強会の継続開催（5回）。 中堅職員の育成強化を実施。
地域共生社会の推進	専門職の地域派遣（介護予防の推進）。 多様の人財の受け入れ。 （高齢者・障がい者・外国人）

夏祭りウイーク

統計資料　P.3

認知症対応型通所介護　江東園ふれあいの里　くつろぎの間

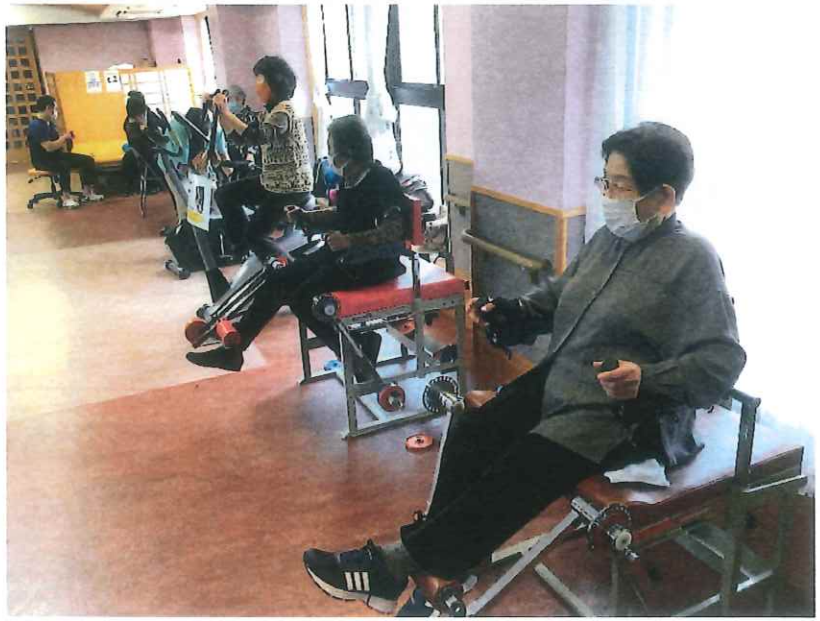
視点	総括
経営 財政	コロナ感染者発生により3週間休業となる。 新規利用者12名、抹消利用者18名→抹消者が多く新規利用者が追い付いていない。 令和5年度上期において事業継続検討。
顧客	認知症の方が楽しめるレクリエーションを実践する(シナプソロジー)。 アンケートでは高い満足度は得ている。
業務	えぽっくサテライト利用者、保育園児とのオンラインを活用した交流の実施。
人財	在宅会議における課題解決と支援効果検証。 WEB研修の活用。
地域 貢献	家族・居宅介護支援事業所に向けた認知症の啓発活動。地域包括との連携によりシナプソロジーを使った認知症予防教室の実践。

レクリエーション風景

統計資料　P.5

パワーアップトレーニング

視点	総括
経営 財政	コロナ感染者発生時、1週間の休止期間があったが平均稼働率は平均89%と安定。 順調に推移している。
顧客	在宅生活が継続できる個別プログラムの作成と実施。 通所意欲を上昇させる取組の実施。
業務	リハビリ会議における事例検討。 他職種との連携と指導協力。
人財	リハビリ勉強会による専門性の向上。 （動画検証の実施による多職種連携）
地域 貢献	専門職の地域派遣。 地域の体力測定会の実施。



日常のリハビリ風景

統計資料 P.7

地域包括支援センター　江東園さわやか相談室　（江戸川熟年相談室　江東園）

視点	総括
経営 財政	・相談件数　3,957件／年間（前年4,006件） ・近隣事業所のケアマネ不足により、自社予防プラン増加。
顧客	地域リーダーの育成と自主グループ活動の支援。
業務	地域活動・地域資源開発につとめ協力者の発掘と地域のつながりの支援を強化。
人財	オンライン研修の活用により、参加目標は達成。
地域貢献	東部地域における地域連携会議を開催。地域の課題を共有し、各機関がどうあるべきか確認した。

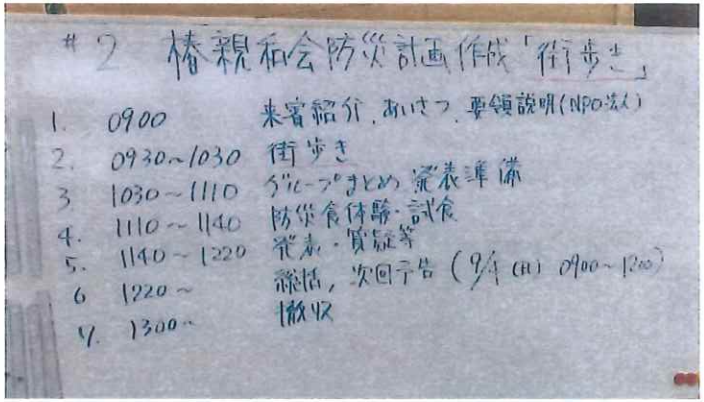
自主グループ(さつき会)

地域連携会議

統計資料　P.9

居宅介護支援事業所　江東園さわやか相談室

視点	総括
経営財政	稼働率は安定。医療機関との連携により、病院や訪問看護からの依頼も増えている。
顧客	医療機関退院時援助と癌末期患者の在宅生活援助。 利用者満足度調査の実施。
業務	医療機関との連携強化。 ケアマネジャーの連携強化と協力体制の構築。 目的毎に明確化されたマニュアルの整備。
人財	法定研修の再開。WEB研修を活用し自己研鑽に努めた。
地域貢献	地域の防災ワークショップへ参加し、東部地域の居宅事業所対象の勉強会を開催。 水害時の避難計画の作成。



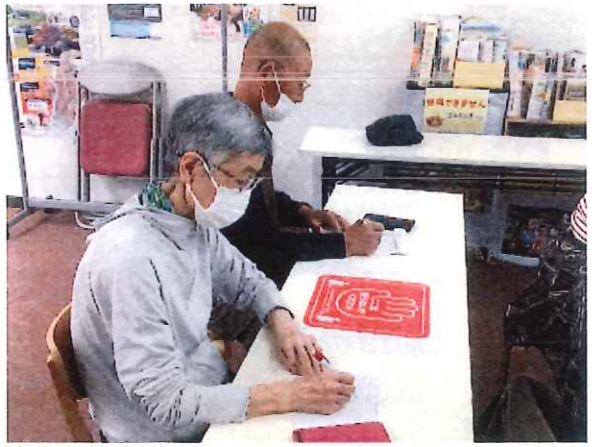
地域の防災ワークショップ

統計資料　P.11・12

なごみの家　瑞江

視点	総括
経営財政	・コロナ禍であったが委託事業は100%達成。
顧客	・地域支援会議開催 ・多職種連携による支援の強化
業務	地域活動リーダー候補の育成と自主グループ支援の強化（グループは少しずつ自走）
人財	オンライン研修を活用
地域貢献	1年を通じてスマホ教室・相談会を開催。3月には共育プラザと連携しeスポーツ体験を実施した。

スマホ教室・相談会



統計資料　P.14

江戸川保育園

視点	総括
経営財政	収支差額の目標を達成できている。0歳児の定員18名が4月の段階で埋まっていたことにより安定していた経営となった。
顧客	新型コロナウイルスの影響により、行事の縮小はあったが、代替案などにより多くの行事を執り行うことができた。
業務	ひやり・にやりほっとが定着。また、その内容を踏まえ事例検討会を行い、事故防止に努めた。
人財	保護者とのコミュニケーションや保育の質の向上は今後の課題である。ウクライナ籍の職員も配属し、外国籍の職員も働ける職場を目指す。
地域貢献	地域の商店街に買い物体験を行い、地域を知るとともに、江戸川保育園を知ってもらうことを内容に取り組んだ

統計資料 P.16

障害福祉サービス事業生活介護　江東園ケアセンターつばき　えぽっく

視点	総括
利用者	
経営財政	・稼働率平均88.4%。平均年齢43歳、**親の高齢化が顕著**。新規利用者4名、退所者3名。 ・**サテライト事業開始され、安定運営。**
顧客	・障害の個別特性に合わせた活動を提供。距離をとっての世代間交流を継続。防災宿泊訓練を再開。 ・強度行動障害研修に3名参加。
業務	・ヒヤリハット報告月平均201件。事故防強化の他、虐待防止研修を実施。
人財	・昨年度に引き続き、職員のファシリテーションスキル向上に取り組んだ。 ・年度途中に3名のスタッフが退職。定着支援に課題を残す。
地域貢献	・サテライトにて交流開始。朝のあいさつなど定着。 ・就労B型とともに物品販売などを実施。

8/27宿泊訓練第1班
初めてのサテライトでの実施

統計資料　P.18

障害福祉サービス事業就労継続B型　江東園ケアセンターつばき　えぽっく

視点	総括
経営財政	・新規入所1名にて現員11名。平均稼働率84.2%。
顧客	・原材料の高騰などの社会状況も加わり、月額平均工賃15,074円（全工賃1,959,741円）。
業務	・利用者個々が力を発揮できるよう作業種目・内容を細分化・個別化することにより、利用者自身が選択できる体制を整備。 ・コロナ禍より在宅ワークを1名継続。
人財	・虐待防止・人権尊重・利用者支援等の研修を実施 ・利用者が自己決定できる仕組みや職員の文化づくりを行った。
地域貢献	・ラグビーONEリーグのクボタスピアーズ船橋・東京ベイの試合会場での販売などにより、合計183万円の売り上げ実績。地域に支援・協力の輪を広げた。

7/2つばき保育園との交流活動

統計資料　P.20

通所介護　江東園ケアセンターつばき　ふれあいの間

視点	総括
経営財政	▣稼働率平均83.6%。**入浴のニーズが高く、利用される方のほとんどが入浴を利用されている。**
顧客	・レクリエーションやスタンプカードの取り組みにより、利用者が楽しんで活動メニューができるように工夫した。
業務	・ひやりハット報告月平均109件。 ・ひやりハット報告の検証を年4回実施し、事故防止に対策強化を行った。
人財	・サービスマナーや職員間の円滑なコミュニケーションには課題を残す。
地域貢献	・利用者の社会参加の場として作品展への出展を継続して行った。 ・園児等との交流機会が再開

2/1永年通園表彰

統計資料　P.22

通所介護　江東園ケアセンターつばき　ほほえみの間

視点	総括
経営 財政	・稼働実績54.5%。 ・週3回営業体制を継続。新規利用者はなし。
顧客	・クラブ活動等継続するとともに、利用者自身が準備や片付けなどを行うことで日常生活リハビリとした。
業務	（ふれあいの間同様） ・ひやりハット報告月平均109件。 ・ひやりハット報告の検証を年4回実施し、事故防止に対策強化を行った。
人財	（ふれあいの間同様） ・サービスマナーや職員間の円滑なコミュニケーションには課題を残す。
地域 貢献	（ふれあいの間同様） ・利用者の社会参加の場として作品展への出展を継続して行った。

3/31ほほえみの間修了式

統計資料　P.23

訪問介護　江東園ホームヘルパーステーションつばき

視点	総括
経営財政	・平日援助平均月89.6件（目標120件） ・コロナ禍で自粛していた援助が徐々に再開。
顧客	**・土日のヘルパー不足及びヘルパーの高齢化の課題は継続。ICT活用により、サービス提供責任者が援助を行う体制へ移行する。**
業務	・ICT化を行い、全ヘルパーがスマートフォンで援助管理を行う。
人財	**・事業所加算（Ⅱ）を取得。**毎月のヘルパー研修にて事例検討を実施する。
地域貢献	・複雑な課題を抱える利用者の増加に伴い、社会資源活用の勉強会などを開催。多職種連携を強化した。

4/22ヘルパー研修にて
（ケアウィング説明会）

統計資料　P.25・26

社会福祉法人 江東園

事業所内保育所　江東園ケアセンターつばき　つばき保育園

視点	総括
経営財政	・年度当初は14名であったが、**年度途中から20名となり、平均在籍数17.5人。**安定した事業運営ができた。**ホームページ開設、グーグルマップの更新。**
顧客	・外国籍の家庭も増え、ICT活用など対応を行った。 ・コロナ禍ではあったが窓越しの交流などの工夫を行い月平均3回の交流活動を継続。
業務	・気づきシートでの報告件数月平均124件。 ・職員育成のため、日々のミーティングを午睡時に設けるなど時間の工夫を行い、機会を確保した。
人財	・小規模保育所2園（はな保育園、ソレイユナーサリー）とのオンライン交流を実施。
地域貢献	・コロナ禍ではあったが、保育室開放を2回実施。

3/10ありがとう会
（卒園式）

統計資料　P.28